

令和4年度 伊志田高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上	服務について正しく理解し、事故を未然に防止する。 公務外での非行を未然に防止する。	3月の不祥事防止会議で教頭が講師となり、コンプライアンスを遵守した行動により、学校の信頼を築くことについて、様々な事例により確認をした。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を高め、セクハラ・わいせつ行為の発生を未然に防止する。	11月の不祥事防止会議でセクハラ、わいせつ行為の防止を教頭が講師となり研修を実施した。自分で意識していなくても相手が不快に感じることがあることなど、共通理解を図った。
(3) 体罰、不適切指導の根絶	部活動や教科指導等での体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	9月の不祥事防止全体会議で、生活指導グループリーダーが講師となり、事例をもとに体罰、不適切指導について職員全体で考え、共通理解を図った。
(4) 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	公正な入学者選抜実施にむけ、1月の不祥事会議で、入学者選抜担当職員より、過去の事例をもとに、事故防止の徹底を図った。また、シミュレーションを通して全教職員の理解を深め、特に初任や入選経験の乏しい職員には個別に研修を行い、事故防止の徹底を図った。
(5) 個人情報等管理・情報セキュリティ対策に係る事故防止	個人情報の流失、及び携帯電話、電子メール、SNS等の不適切使用を未然に防止する。	9月の不祥事防止会議で、研究開発グループリーダーが講師となり、個人情報の適切な取扱いや情報セキュリティについて、基本的な手法やルールについて共通理解を図った。
(6) 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転に係る事故防止	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	12月に資料を配付し、「飲酒」、「酒気帯び運転」、「スピード違反」等の事例に加え、通勤や私用の運転の場合も十分注意するよう全職員に注意喚起し、事故・不祥事の未然防止を図った。
(7) 適正な経理処理に係る事故防止	公費、私費において、適正に経理処理を行う。	5月に管理運営グループリーダーが講師となり不祥事防止会議で、会計担当だけでなく、職場全体で私費会計基準に則った会計処理を確認した。
(8) 定期試験・成績処理に係る事故防止	全ての試験や成績処理に係る事故を未然に防止する。	6月の不祥事防止会議で、学習指導グループの職員が講師となり、成績処理について職場研修を実施した。また、定期試験の際には、答案の枚数の確認（監督及び科目担当者による）、監督から科目担当者への答案の手渡し徹底、解答用紙の誤廃棄防止など、学習指導グループリーダーが朝の打合せで毎日注意喚起を繰り返した。

(9) 要録、調査書作成・発行に係る事故防止	進路に係る事故を未然に防止する。	キャリアガイダンスグループリーダーが講師となり不祥事防止会議で全職員を対象に、調査書作成・発行時、併せて学校推薦における県下で発生した事件事例を用いて事故防止に向けた研修会を実施した。
(10) 危機管理及び不祥事全般に係る事故防止	災害時対応、部活動、生徒指導等の不祥事全般・危機管理に関する不祥事を未然に防止する。	10月の不祥事防止研修会において、生徒活動グループリーダーが講師になり、風通しの良い職場づくりにより職場内での適切なコミュニケーションができているか確認した。また、危機管理について常に検討を行い、門の開閉時間や校内の防犯体制について見直しを行い、職員の共通理解を図った。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

「令和4年度伊志田高等学校不祥事ゼロプログラム」については、概ね予定通りに実施し、事故・不祥事を防止することができた。

令和5年度については、若手教員の採用・配置が増えていることから、引き続き、法令遵守意識やコンプライアンスを向上させることについて重点的に取り組むとともに、セクハラ・パワハラの防止、定期試験や成績処理について校内研修を実施するなど、事故・不祥事の未然防止を図っていく。